

気候情報

2007年5月の日本の天候

降水量多い（北日本太平洋側）、
日照時間多い（東日本太平洋側、西日本）

5月の天気概況

日本列島南岸の前線帯が平年に比べ南に位置したため、東日本以西では、高気圧におおわれ晴れる日が多かった。また、南西諸島では梅雨入りがかなり遅れた。北日本付近を低気圧が頻繁に通ったため、北日本では曇りや雨の日が多かった。また、低気圧に向かって暖気が入やすく、東・西日本では気温の高い日が多かった。10日、17日には、上空に寒気が入ったため、広い範囲で雷や突風があった。下旬になって、25日や30～31日にまとまった量の雨となったが、西日本や南西諸島では降水量の少ない状況が続いた。

上旬：低気圧や前線が日本列島付近を頻繁に通過し、天気は短い周期で変わった。低気圧に向かって暖湿気が入ったり、晴れた日には最高気温が上がるなど、南西諸島をのぞき、気温の高い日が多かった。10日には上空に寒気が入ったことから、雷や雹、突風などが観測された。**旬平均気温**は、北日本、東日本、西日本で高く、南西諸島では低かった。**旬降水量**は、北日本太平洋側、西日本で多く、北日本日本海側、東日本、南西諸島では平年並だった。**旬間日照時間**は、北・東日本日本海側で少なく、北・東日本太平洋側、西日本では平年並、南西諸島は多かった。

中旬：北日本では低気圧が頻繁に通る、曇りや雨の日が多かった。また、低気圧の通過後には寒気も入った。東日本や西日本では高気圧におおわれ晴れる日が多かった。17日には気圧の谷の東進にともない強風や雷が観測された。亜熱帯高気圧の北への張り出しが弱く、前線が顕在化しにくかったが、16日に沖縄の梅雨入りが発表された。**旬平均気温**は、北日本、南西諸島で低く、東日本、西日本で平年並だった。**旬降水量**は、北日本日本海側で平年並、北日本太平洋側で多く、東日本、西日本、南西諸島で少なかった。**旬間日照時間**は、北日本、南西諸島で少なく、東日本日本海側は平年並、東日本太平洋側、西日本では多かった。

下旬：25日には低気圧が日本列島付近を東進し、日本列島の広い範囲で久しぶりのまとまった量の雨となった。低気圧の通過後日本の南海上に前線が停滞し、遅れていた奄美地方も梅雨入りした。また、30～31日にも上空に強い寒気をともなった低気圧が通過し、東日本や北日本を中心にまとまった量の雨となった他、降雹もあった。その他の日は移動性高気圧におおわれ、晴れる日が多かった。**旬平均気温**は、西日本、南西諸島では高く、北東からの冷たい風の入っ

た北日本、東日本では平年並だった。**旬降水量**は、北日本太平洋側、東日本太平洋側で多く、北日本日本海側、東日本日本海側、西日本では平年並、南西諸島で少なかった。**旬間日照時間**は、全国的に多かった。

5月の気候統計

月平均気温：東日本と西日本では高く、北日本と南西諸島では平年並だった。北海道のオホーツク海側では平年を1℃以上、下回った。

月降水量：西日本日本海側と南西諸島では少なかった。一方、北日本太平洋側ではかなり多く、北海道では平年の170%以上となったところがあった。北日本日本海側と東日本、および西日本太平洋側では平年並だった。

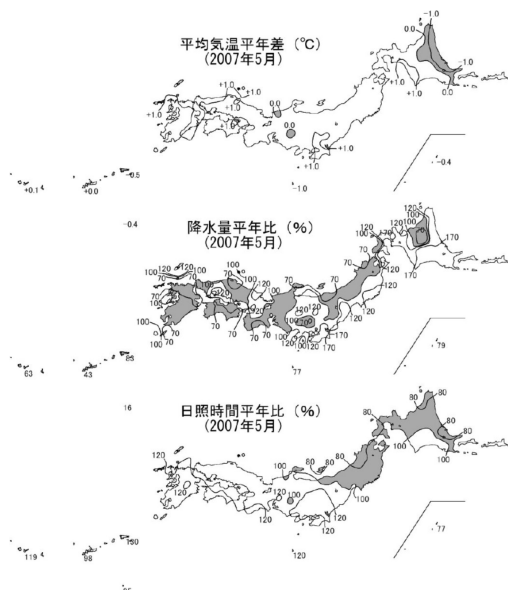
月間日照時間：南西諸島で多く、東日本太平洋側と西日本ではかなり多かった。一方、北日本では少なく、東日本日本海側では平年並だった。

（気象庁観測部統計室）

5月の記録（1位更新のみ）

- ・月降水量多い方から（mm）
釧路 259.0
- ・月降水量少ない方から（mm）
南大東島 29.0
- ・月間日照時間多い方から（時間）
尾鷲 224.3 延岡 243.8

地域を示す2007年5月の平年差（比）図



注) 陰影の部分は、平年より低い（少ない）地域を示す。